

ゴーヤでつくろう！「緑のカーテン」



準備するもの

(1)プランター

大きめで深さが30cm以上ある深めのもの。

(2)肥料

鶏糞、堆肥、液体肥料など

(3)土

培養土、野菜用の土が簡単。
園芸土と腐葉土を混ぜたものでも可

(4)排水性のあるもの

プランターの底に、水はけを良くするために敷く。
軽石や鉢底石、ネットに入れた発砲スチロールなど

(5)園芸ネット(10cmの網目サイズ)

つるが絡まりやすく、強風の時にも風が通りぬけるため、植物への被害が少なくなります。

(6)支柱

苗の小さい時に使用する。
また、大きくなったら、ネットを張るのに使用する。

(7)その他

針金またはシュロ縄、ベンチまたはハサミ

1. 種の発芽



(1)前処理

種の先のとがっている部分を爪切りなどで切り取ります。



(2)水に漬ける

前処理を行った種を水で濡らしたガーゼの上に置きます。

あまり水に浸しすぎると種が腐ってしまうので、注意が必要です
約3~4日で白い根が出てきます。



(3)発根後

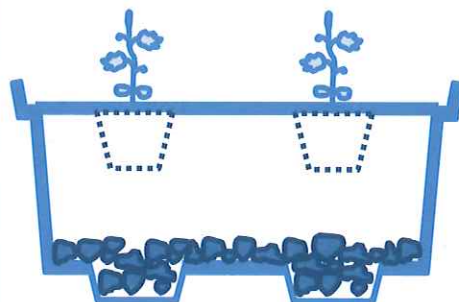
種から白い根が出てきたら、根を下向きにして、深さ1cm程度の穴を開け、種を蒔き、土をかぶせます。

15日~20日くらいで本葉が出てくるので、本葉が4~5枚になったら、苗植えします。

【発芽しない場合】

- ・気温が低すぎる
ゴーヤの発芽適温は、20度以上

2. 苗植え



(1)下準備

プランターの底に軽石か鉢底石を敷き、ふちから5cmほどの深さまで土を入れます。

(2)苗を取り出そう！

苗を植える前にポットから苗を取り出し、土をくずさないように注意しながら根をやさしくほぐしておきます。

(3)植えつけ

用意したプランターに30cmの間隔で植えつけます。

【ポイント】

- ・プランターの淵まで土をいれない
- ・根鉢は、崩さないで植え込む
- ・植え込み際は、30cm空ける



3. 水やり・追肥

(1)プランターの土

水分の蒸発・流失が早い。
また、伸び盛りの時期になると植物がより水分を吸収するようになるため、更に乾きやすくなります。

(2)お水のやり方

土の表面が乾いたら、プランターや鉢底の穴から水が流れ出るまでたっぷり与えます。

屋間の暑い時期時間帯は、あげた水が沸騰し、根を痛めてしまうので避けましょう。

夏は乾くのが早いので朝・夕方の方の2回水やりが必要な時もあります。

(3)追肥について

追肥は、鶏糞、堆肥、液体肥料などを少量与えます。

あげすぎると根やけの原因になるので、規定量にとどめましょう。

1回目は、全体が50cmくらいに伸びた頃。

2回目は、実が付きだした頃。
以後は収穫時期に2週間に1回くらいで根本を避けて追肥します。

【ポイント】

- ・屋間の水やりは避けます。
- ・乾燥する時期は、1日2回お水やりを行います。

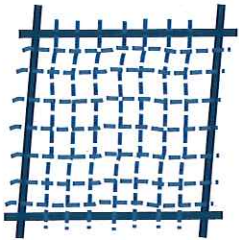
ゴーヤでつくろう！「緑のカーテン」



4. つるの誘引・摘心

(1) つるの誘引

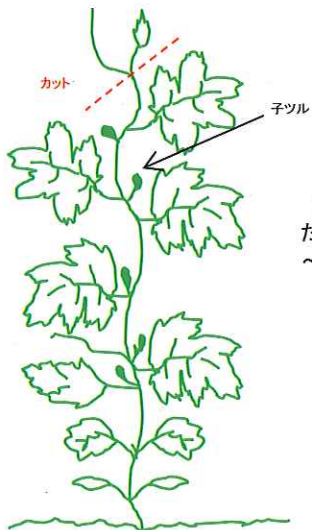
つるが50cmほどまで伸びたら、支柱やネットを用意して、つるを這わせませす。支柱は、「井」形になるように組み立て、ネットを取り付けます。



針金や紐で固定します

(2) つるの摘心

葉が6~7枚くらいになったら、つるの先を2~3cmカット(摘心)し、子づるが伸び葉が5枚くらいになったら、再度摘心を行い、葉が横に広がるようにします。



丈が1mくらいまたは、葉っぱが6~7枚が目安。

5. 花の受粉



(雄花)

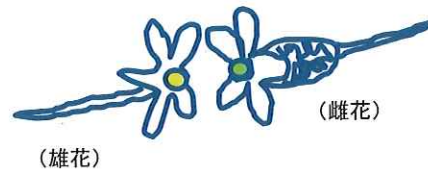
(雌花)

雄花

初めの頃は、雄花が咲きます。雄花は、一日花といわれ、咲いたら一日で散ってしまいます。雄花の中心は、黄色です。

雌花

雌花は、花の根本の部分が膨らんでおり、この部分が膨らんで果実になります。雌花の中心は、緑色です。



(1) 受粉について

自然界では、昆虫たちが受粉の手伝いをしてくれますが、都内は昆虫も少なく確実ではないため、人工受粉を行います。人の手を介して、雄花の中「おしべ」と雌花の花の中の「めしべ」をくっつけて受粉を行います。

6. 収穫・管理



適齢期

遅い

(1) 収穫時期

約2か月たつと収穫できるようになります。ゴーヤの表面のイボイボが膨らんできたら適齢期です。また、収穫が遅れて黄色くなり、はじめてしまったゴーヤも種を取って翌年にまた種を蒔きます。

(2) ゴーヤを食べよう！

★ゴーヤのビタミン★

ビタミンCがトマトの5倍と豊富です。更にゴーヤのビタミンは、熱にも強く加熱してもビタミンが損なわれないので、非常に効果的です。

★ゴーヤの苦味成分の正体★

「クルルビタミン」というフラボノイド類が含有しており、免疫力を強化し、糖尿病予防効果やガン予防効果があります。

「緑のカーテンコンテスト」 入選作品



和らげることにより、 抑える、自然のカーテンです。

程よい遮光効果があり、冷房の使用を減らすことができるので、電気代の節約にもなります。

また、植物は、地球温暖化の大きな原因となっている二酸化炭素を吸収したり、大気汚染物質を浄化する力があるので、地球温暖化の防止にもつながります。



夏涼しく過ごすには
「外の暑さを入れない」ことです

花を楽しめる



「クレマチス」

つる性植物の女王。
つる性多年草のうち花が大きく、観賞価値の高い品種。

実を食べられる



「インゲン」

夏に花をつけ、秋に長いさやをつける。
つる性の品種とつるなしの品種とがあり、つる性の品種の方が収穫期間が長い。

遊んで役立つ 緑のカーテンが最適

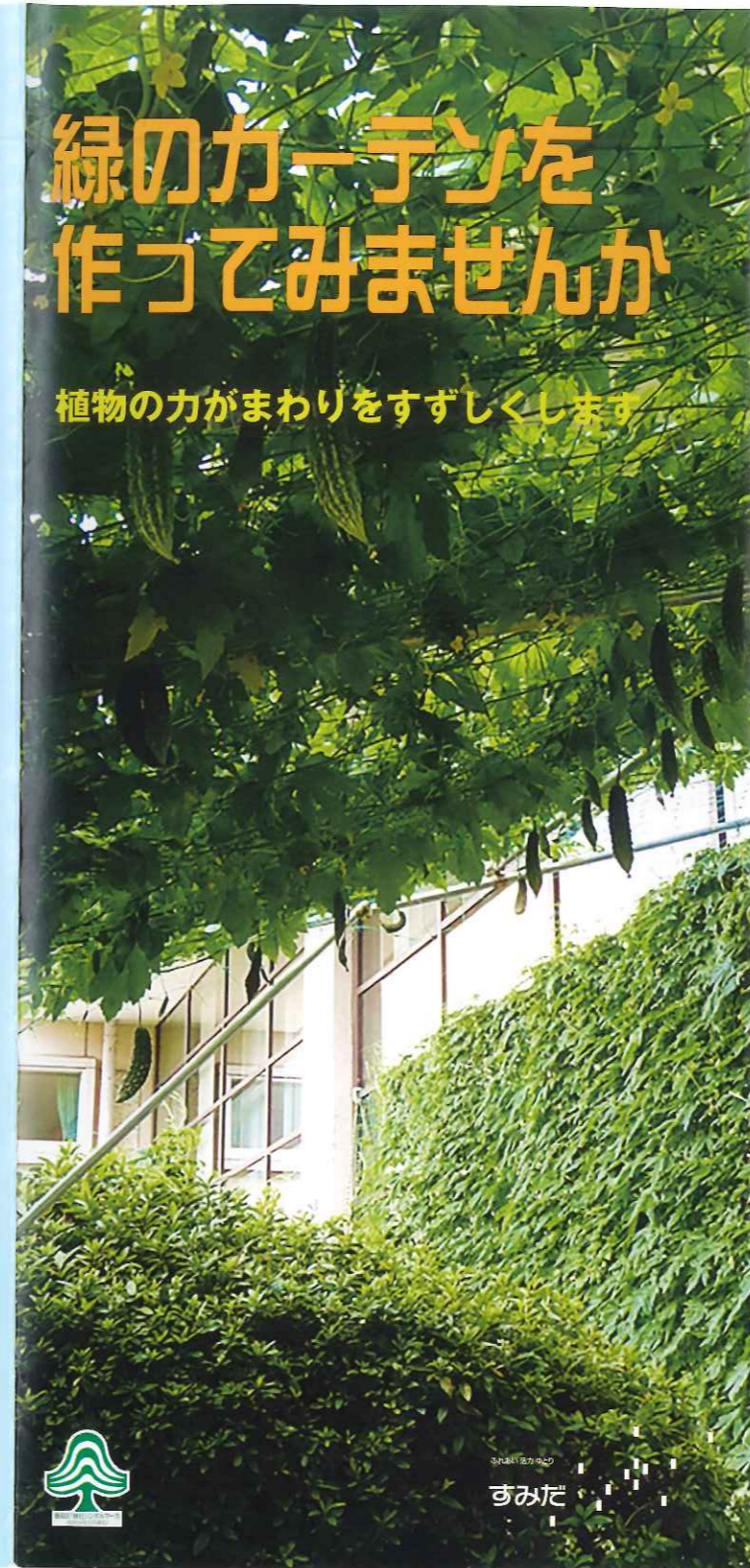


「ヘチマ」

夏の風物詩として昔から親しまれてきた。棚からぶらりと垂れ下がった果実の風情はもちろんヘチマ化粧水やタワシづくりにも人気。食べられる。

緑のカーテンを 作ってみませんか

植物の力がまわりをすずしくします



夏の強い日差しを 室内の温度上昇を

効果は？

緑のカーテンの表側と裏側では、最大で約3℃の差がありました。

植物の蒸散作用によって涼しい風が流れ込んできます。



墨田区環境保全課緑化推進担当
☎ 03-5608-6208

https://www.city.sumida.lg.jp/kurashi/kankyuu_hozen/midori/midorinokaten/index.html

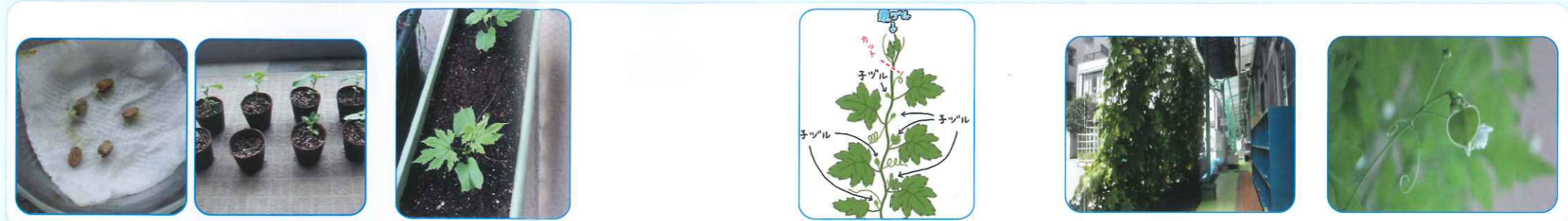


すみだ

成長する様子を楽しみながら緑のカーテン作りに挑戦しましょう！

1 準備するもの

- 
・プランター
 (大きめで深めのもの。深さが30cm以上)
- 
・土
 (培養土、野菜用の土が簡単。園芸土と腐葉土を混ぜたものでも可)
- 
・排水性ごろ石
- 
・肥料
- 
・支柱
 (苗の長さが短い場合は支柱で支える)
- 
・ネット
- 
・針金またはシュロ縄、ペンチ又は鉄
- 
・苗



2 苗植え

【朝顔】
種は皮が厚く硬いので、一昼夜水につけてからまきます。本葉が4~5枚になったら、プランターに植えつけます。

【ゴーヤ】
種は皮が硬く水を吸いにくいので、種の先を切り、水につけてからまきます。本葉が4~5枚のもので双葉が残っている苗を30cmの間隔で植えつけます。

3 水やり

土の表面が乾いていたら、プランターや鉢底の穴から水が流れ出るまでたっぷり与えます。植物に水分を与えるだけでなく、鉢の中に新しい空気を送りこむ大切な作業です。日昼の暑い時期は避けましょう。真夏は朝・夕に水やりが必要な時もあります。

4 追肥

一回目は、全体が50cmくらいに伸びた頃。次は実が付きだした頃。以降は収穫時期に2週間に1回くらいで根本を避けて追肥します。油粕、鶏糞、堆肥、液体肥料などの肥料を少量与えます。(使用量を守ってあげすぎに注意)

5 つるや枝の誘引

つるが50cmほど伸びたら、支柱やネットなどを用意して、つるを這わせます。葉が7枚位になったら摘心し、つるがのび葉が5枚位になったらところで又摘心し、つるや葉が横に広がるようにします。

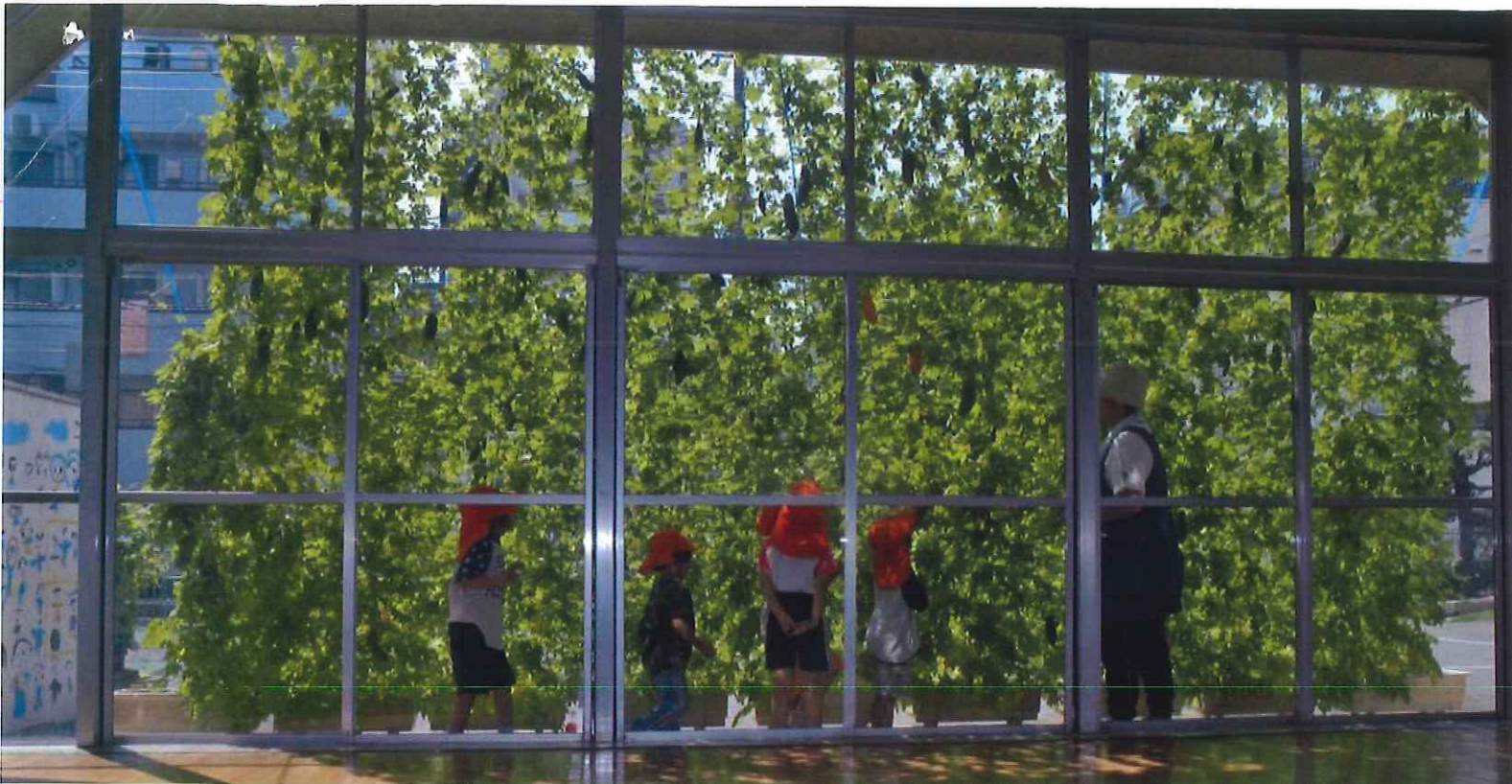
6 花・受粉

直径2cmくらいで5枚の花びらを持つ黄色い花が次々と咲きます。はじめは雄花がほとんどですが、次第に雌花が増えてきます。雄花は咲いて1日でボトンと下に落ちてしまいますが、雌花はなかなか落ちません。また、ほのかな良い香りがします。昆虫たちが受粉の手伝いをしてくれますが、雄花の中の「おしべ」と雌花の中の「めしべ」をくっつけるだけで受粉できます。

7 収穫・管理

約2ヶ月で収穫できるようになります。ゴーヤの表面のイボイボがふくらんできたら適期です。そのままにしておくと黄色くなって、破裂してしまいます。甘い味がして食べられます。ネットはあまりしっかり固定せず、ゆとりを持たせると強風にも耐えられます。





緑のカーテンコンテスト2016

応募
期間

7/1(金) ~ 9/2(金)

応募作品：区内に一年草のつる性植物
で作った「緑のカーテン」

参加賞：お花の球根セット



家庭で作ったカーテン部門

区内に居住している住宅において個人で取り組んだもの

みんなで作ったカーテン部門

区内の店舗・事業所・公共施設などの建物において団体で取り組んだもの

応募に必要なもの

- ①緑のカーテンの写真
- ②応募票

※本紙の裏面に、詳細が記載してありますので、詳しくは裏面をご確認ください。

表彰について

入選された方には、表彰状と記念品を贈呈します。

【各部門】
最優秀賞 1点 優秀賞 2点 奨励賞 1点

参加賞の受取り方法

- 1 受取り期間
10月24日(月)から
11月11日(金)まで
- 2 受取り場所
下記の2か所でお渡しします。
(1) 墨田区役所14階
環境保全課
(2) 緑と花の学習園
(墨田区文花二丁目12番17号)

平成28年度「緑のカーテンコンテスト」募集要項

目的

ヒートアイランド現象の緩和や省エネルギーの推進、及び生活の中で緑を身近に感じる緑感の向上を図るため、本コンテストを開催し、緑のカーテンの一層の普及啓発を図る。

応募資格

墨田区内にある住宅、事業所、公共施設に一年草のつる性植物を育て、「緑のカーテン」を設置した個人及び団体。

募集部門

- (1) 家庭で作ったカーテン部門：区民が居住している住宅において個人で取り組んだもの
- (2) みんなで作ったカーテン部門：区内の店舗・事業所（公共施設を含む。）において団体で取り組んだもの

応募方法

緑のカーテンの写真（3枚まで）と所定の応募用紙（区ホームページよりダウンロードできます）に必要事項を記入し、窓口提出、郵送、電子メールのいずれかの方法で期日までに御応募ください。 ※応募者全員に、参加賞を進呈します。

【窓口提出の場合】

墨田区役所14階環境保全課緑化推進担当までお持ちください。（平日の午前8時半から午後5時15分まで）

【郵送の場合】

応募先にお送りください。

【電子メールの場合】

デジタル画像（3Mバイト以下、JPEG形式のみ）を添付し、応募先のE-mailアドレスまで送信してください。

（注意事項）

- (1) 写真はカラープリントとし、裏面に氏名を記載してください。また、展示にあたっては写真を拡大コピーする場合があります。
- (2) 電子データで写真を提出する場合は、CD-Rを使用し提出してください。
- (3) 人物と一緒に写す場合、必ず本人の了解を得てください。
- (4) 応募作品は、区のホームページで紹介するほか、イベント会場に展示する場合があります。
- (5) 応募作品の返却はいたしません。応募作品の著作権及び使用に関する権利は墨田区に帰属します。
- (6) 応募の氏名、コメントを公表いたします。
- (7) いただいた個人情報については、本コンテストの開催目的以外には使用しません。
- (8) 前年度に最優秀賞及び優秀賞を受賞された方は、連続して同じ賞は受賞できません。

募集期間

平成28年7月1日（金）から9月2日（金）まで（当日消印有効）

審査

(1) 一次審査

応募作品を下記の会場に展示し、来場者による投票を実施します。

【第一会場】平成28年9月15日（木）から9月28日（水）まで ひきふね図書館

【第二会場】平成28年10月1日（土）から10月2日（日）まで 墨田区総合体育館

(2) 二次審査

10月中旬に一次審査結果の上位応募作品から、選考委員の審査により、部門ごとに入選作品を決定します。

表彰

各部門 最優秀賞（1点）優秀賞（2点）奨励賞（1点）を表彰します。 ※入選者には副賞を贈呈します。

審査結果発表：平成28年11月中旬予定（入選者に直接通知します。）

応募先・問合せ先

墨田区 環境保全課 緑化推進担当（区役所14階） 〒130-8640 墨田区吾妻橋一丁目23番20号

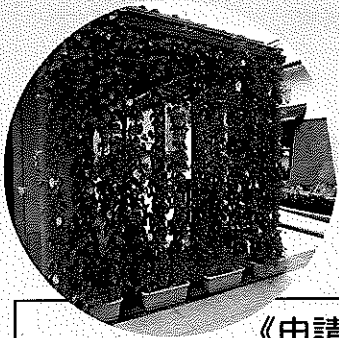
TEL (03) 5608-6208 E-mail: KANKYOU@city.sumida.lg.jp

「緑のカーテンポイント」

「緑のカーテン」とは、窓辺にアサガオ・ヘチマ・ゴーヤなどのつる性の植物を這わせることで夏の強い日差しをやわらげ、室内の温度上昇を抑える自然のカーテンのことです。

区では「緑のカーテン」を設置した方に対して“すみだエコポイント「緑のカーテンポイント」”として今年度はクオカードを付与します。

さあ、暑い夏を迎える前に、みなさんもお自宅などで「緑のカーテン」作りを始めませんか？



**緑のカーテンを1㎡以上設置した方に、
“1㎡あたり100ポイントで(50ポイント単位)
上限500ポイント”
300ポイントまたは500ポイント以上でエコポイント
を付与しクオカードをゲット。**

《申請手続きの流れ》

① 緑のカーテンを設置した方は、6月1日(水)から9月30日(金)までに
環境保全課緑化推進担当にご連絡ください。



② 担当職員がご訪問して、緑のカーテンを計測します。(計測は、1回のみ)

③ 計測の結果、300ポイントまたは500ポイント以上あれば、その場で
300円または、500円のクオカードと交換します。

④ 残ったポイントは「CO2ダイエットポイント」に加算できます。

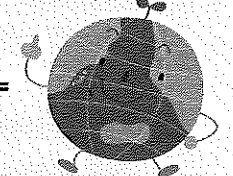
⑤ 平成29年3月31日までに「すみだエコポイント[緑のカーテン]付与通知書」を
区役所14階環境保全課管理担当にご持参ください。

*すみだ環境ふれあい館は、老朽化のために閉館いたしましたのでご承知おきください。



今年の夏は、
「緑のカーテン」で
涼しく&省エネ!!

すみだ環境区宣言

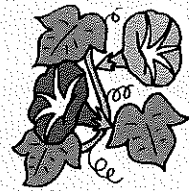


【問い合わせ先】 墨田区環境保全課・緑化推進担当

〒130-8640 墨田区吾妻橋 1-23-20 墨田区役所14階

電話：03-5608-6208 (直通) / FAX：03-5608-6934

やってみよう！「緑のカーテン」作り



《準備するもの》

- ・プランター（大きめで深さが30cm以上ある深めのもの。） ・肥料
- ・土（培養土、野菜用の土が簡単。園芸土と腐葉土を混ぜたものでも可。）
- ・排水性ごろ石（プランターの底に、水はけを良くするために敷きます。軽石か鉢底石）
- ・ネット ・支柱（苗の長さが短いうちは支柱で支えます。） ・針金またはシュロ縄、パンチまたはハサミ
- ・種または苗（食べて楽しむゴーヤやインゲン、花を楽しむアサガオやクレマチス、遊んで役立つヘチマなどがおすすめです。）

《作り方》

① 種まき・苗植え

プランターの底に軽石か鉢底石を敷き、ふちから5cmほどの深さまで土を入れます。

アサガオの種は皮が厚く硬いので、一昼夜水につけてからまきます。本葉が4~5枚になったら、プランターに植え付けます。ゴーヤの種も皮が硬く水を吸いにくいので、種の先を切り（つめ切り等でほんの少し傷付ける程度）、一昼夜水につけてからまきます。本葉が4~5枚のもので双葉が残っている苗を30cmの間隔で植え付けます。

② 水やり

土の表面が乾いたら、プランターや鉢底の穴から水が流れ出るまでたっぷり与えます。植物に水分を与えるだけでなく、鉢の中に新しい空気を送り込む大切な作業です。

昼間の暑い時間帯は避けましょう。夏は乾くのが早いので朝・夕に水やりが必要なときもあります。

③ 追肥

一回目は、全体が50cmくらいに伸びた頃。次は実が付きた頃。以後は収穫時期に2週間に1回くらいで根元を避けて追肥します。鶏糞、堆肥、液体肥料などの化成肥料を少量与えます。（あげすぎに注意しましょう）

④ つる・枝の誘引

つるが50cmほど伸びたら、支柱やネットなどを用意して、つるを這わせませます。葉が7枚くらいになったら摘心し、子づるが伸び葉が5枚くらいになったらまた摘心し、つるや葉が横に広がるようにします。

⑤ 花・受粉

はじめは雄花がほとんどですが、次第に雌花が増えてきます。昆虫たちが受粉の手伝いをしてくれますが、雄花の中の「おしべ」と雌花の中の「めしべ」をくっつけるだけで受粉できます。

⑥ 収穫・管理

約2ヶ月たつと収穫できるようになります。ゴーヤの表面のイボイボがふくらんできたら適齢期です。

ネットはあまりしっかり固定せず、ゆとりを持たせると強風にも耐えられます。

Q. どの種類の植物でもいいの？

⇒A. つる性植物であれば、品種は問いません。

Q. 緑のカーテンの出来具合が、ポイント付与の対象になるか分からない。

⇒A. 担当職員が確認をしますので、まずはご連絡ください。

Q. 苗などの費用も助成してもらえるの？

⇒A. 緑のカーテンの設置にかかる費用の助成はありません。

Q. 育てる自信がないのだけれど・・・

⇒A. 育て方等のアドバイスをおこなっています。「緑と花の学習園」(03-3616-3823)へお問い合わせください。